



Sidra / Bourbon Sidra

エル ディヴィソ農園を運営するのはネストル・ラッソ氏。ウィラのブリュッセル地区で26年間コーヒー栽培を続けてきた農園の若き2代目です。エル ディヴィソ農園のシドラ・ダブルファーマンテーションは、ネストル・ラッソ氏をはじめとする若手生産者の実験精神と精密技術が結実した、現代スペシャルティコーヒーの象徴的な一杯です。希少で価格も高めですが、競技会レベルの複雑さとインパクトを日常で味わえる貴重なロットです。

希少品種の栽培と精密な発酵プロトコルの実験に注力し、2022年ワールドバリスタチャンピオンシップ（WBC）でアンソニー・ダグラス氏がこの農園の『シドラ』を使用して優勝したことで世界的に注目を集めました。以降も競技会で多く使用されています。

品種 シドラ（Sidra / Bourbon Sidra）はエクアドル由来とされる希少品種で、起源は完全には解明されていません。レッドブルボン×ティピカの交配、またはエチオピア在来種に近いものという説があり、最近の遺伝子検査では後者が有力視されることもあります。「シドラ」はスペイン語で「リンゴ酒（シードル）」を意味し、リンゴのような明るい酸味やフルーティーさが特徴。ゲイシャに次ぐ「ネクスト・ゲイシャ」と呼ばれることもあり、収量性や病害耐性も比較的良好ですが、葉さび病などには弱い面があります。エル ディヴィソ農園では日陰樹の下でゆっくり成熟させ、品種特性を最大限引き出しています。

シドラでは「好気性（酸化）＋嫌気性（アナエロビク）」を組み合わせた複数段階の発酵「ダブルファーマンテーション」が用いられています。（Ombligonのダブルファーマンテーションと似た精密管理です）

ネストル氏より

「私たちは世界の大きなコーヒーサークルの一員です。生産者として常に良いものを生み出そうと家族一丸となり情熱的に前進しています。でも我々のコーヒーを世界中の人に楽しんでもらえるのは、輸出入、販売、そして一杯のコーヒーを作ってくくださる皆さんがいるからこそです。我々はチームです。皆さんに感謝してこれからも情熱を注ぎ、素晴らしいコーヒーを生産していきます」

商品名：コロンビア シドラ ウィラ エル ディヴィソ農園 ダブルファーマンテーション

生産地：ウィラ県ブルセラス地区

農園名：Huila, El Diviso農園

農園主：Nestor Lasso（ネストル・ラッソ）

収穫期：10月～2月/5月～8月

標高：約1,600～1,800m

品種：Sidra

精製：嫌気・好気性発酵を伴うダブルファーマンテーション(Natural)

乾燥：ナチュラルサンドライおよびメカニカルドライ

規格：EP10 欠点数 8/35